

<2030 年の SDGs 達成に向けた経営方針と目指す姿>

HORIBA グループが掲げる社は「おもしろおかしく」のもと、堀場エステックは事業成長を実現させていくことが、SDGs の目標達成へ繋がっていくと考えます。

堀場エステックは人々の暮らしや産業に欠かすことのできない半導体チップの開発や製造で使用する流体計測制御機器を提供しています。半導体の製造で求められる高速で正確な「流体制御」をソリューションとして提供し、製品およびサービスを通じてSDGs に示されている持続可能な社会の達成に貢献します。

また製品の製造工程においては、エネルギーや材料の無駄の削減、さらには国連グローバルコンパクトの 10 原則および RBA の行動規範に則り人権の尊重に努め、企業の社会的責任を果たしています。

熊本県に主力工場を稼働させ、地域の人々とのコミュニケーションや経済活動にも積極的に関わることで、堀場エステックは熊本県が推進するSDGs 活動に貢献します。

<SDGs に関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGs に関する重点的な取組み	指標
○環境 ◎社会 ◎経済	過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、独自の事業継続管理基準の制定・運用・推進	演習 1 回/年実施
◎環境 ◎社会 ○経済	省エネの推進	省エネが優秀な事業所 2017 年から 2023 年まで7年連続 S ランク
○環境 ◎社会 ◎経済	働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスの推進	阿蘇工場男性従業員 の育児休業取得率 50%以上
◎環境 ○社会 ◎経済	省資源の推進	製品 1 台当たりの廃棄物総排出量 2020 年比 10%低減(有価物、リサイクル含む)

<パートナーシップ>

熊本県と堀場エステック

1985 年熊本市内に拠点を開設し、さらには 1988 年西原村に量産拠点として、阿蘇工場を稼働。

以後 5 回にわたる工場増強を行っています。

地元の従業員や県内企業の協力を得てグローバルな半導体産業発展に貢献しています。

2016 年に発生した熊本地震では阿蘇工場も大きな被害を受けましたが、行政と近隣の皆様のご支援を受け、従業員と共に工場の再稼働を行い、被災後 20 日間で 80%まで生産復旧することができました。このような地域の基盤に期待し、国内グループ最大の量産工場として 2018 年に新阿蘇工場を竣工しました

- ・「SDGs に関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGs に関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGs に関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。